

Let's English ～ 西九州大学留学生交流英語授業

1月12日、西九州大学の留学生3名（いずれもネパール国籍）を招いて、6年生で交流授業を実施しました。5年生は、神埼市の取組でオンライン英会話を年間を通じて行っています。6年生でも英語の学びの実感を味わわせたいと、英語専科教員である中地先生の相談から始まって実現したものです。是非、実現させたいと学校も動きましたが、そもそも西九州大学のでん承が得られるのか、一口に留学生と言っても、誰が、いつ、どのような移動手段で、など、様々な点に壁がありました。神埼市教育委員会に相談したところ、全面的にバックアップしていただけることとなり、神埼市と西九州大学との提携事業の一環として実現にこぎつけました。市としても初めての試みで、当日夕方のニュースでご覧になった方も多いたと思います、NHK 佐賀とサガテレビの報道取材も入りました。

授業後、数名の子どもがインタビューに答えており、見ているこちらが緊張してその様子を見ていましたが、心配をよそにきちんと答えていて、みんな立派になったものだとうれしく思いました。

文部科学省の調査によると、「英語の勉強（学習）は好きですか」との質問に否定的な回答をした小学6年生の割合は、2021年度は31.5%で2013年度の23.7%と比べ、英語嫌いの児童が増えてしまったとの報告がなされました。本校（本市）では、英語の授業については、英語専科教員とALT（外国人指導員）又はJET（日本人指導員）による学習を行っています。得意、不得意はあるでしょうが、英語嫌いをつくらないようにしたいものです。

次年度も、この取組を継続できるようにと考えています。



明るく住みよい未来へⅡ

2月12日の全校集会で、神埼市青少年の主張で発表してくれた6年生の大久保さんに全校発表をしてもらいました。その発表を受けて、校長からは、平成30年の少年の主張全国大会で内閣総理大臣賞を受賞した山形県の中学3年生女子生徒の主張『人生を駆け抜ける』の全文を紹介しました。中学生になってから、いわれのないいじめを受け続け、「死にたい」と母親に打ち明けたところから、多くの人たちに支えられ、学校が楽しいと思えるようになった現在までの主張文です。

「いじめはなくすことができる」と述べた大久保さんの主張と山形県の女子生徒の主張は、時間（とき）も場所も違いますが、一つにつながっています。

私（校長）が「いじめの芽」と呼んでいるものは、この千代田中部小にも存在します。まだ土の中で芽吹いたばかりで、地表に芽として見えないだけのものもあるのかもしれません。

令和6年度もあと少しです。「気付いていないだけ」「見て見ぬ振りをしているだけ」になっていないか今一度、自身や周りを見渡してみるよう、子ども達に伝えました。



地域でできることを実行しよう～ 6年生家庭科～

2月20日、6年生で「千代田町クリーンアップ作戦」を行いました。家庭科の授業の一環です。セブンイレブン方面、ミニストップ方面、千代田中学校方面の3つのコースに分かれて、ゴミ拾いを行いました。1時間ほどの活動でも、一人一人が持つゴミ袋がいっぱいになるほどのゴミが集まりました。

6年生、ごくろうさまでした！



人はなぜ、罪のない人まで悲しい思いをしなければならないのでしょうか。日々テレビから流れてくるニュースを見るたびにそう思ってしまいます。

この「社会を明るくすること」についてどうすることが、社会を明るくすることなのか分かりませんでした。調べてみると、すべての日本国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生の理解を深め、いろいろな立場において、力を合わせて犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうとすることだということが分かりました。犯罪や非行については、六年生で佐藤弁護士による授業を受けたときに学びました。犯罪とは法を破り罪を犯すこと、非行とは社会通念上正しくない行為のことです。このことは、子供のころから両親に教えてもらったり学校でも学んだりすることです。だから、やってはいけないことだと誰もが分かっているはずなのです。それなのになぜ、人は非行に走ったり犯罪をしてしまったりするのでしょうか。

ニュースや新聞をみると、日本だけではなく世界中で犯罪が起きていることが分かります。お金がなくて生活に困り人の物を盗んでしまう人、ストレスがたまり知らない人を傷つけてしまう人、それらを何度も繰り返す人などがいます。

私の生活に置き換えて考えてみると、いじめによく似ていると思いました。いじめはやってはいけないことだと分かっているはずですが、それでもいじめはなくなりません。いじめの発生件数は全国で年間約六十八万件報告されています。それだけではなく、いじめがきっかけで自ら命を絶つ人は昨年1年間に500人以上もいるそうです。世の中の犯罪や非行がなくなることといじめの問題はよく似ているなどと思います。

では、学校生活においてなぜいじめは起きるのでしょうか。それはいじめている人は「ふざけて遊んでいる」「嫌いだから無視をしているだけ」だと言います。それが何度も続くことで次第にエスカレートしていき、いじめを受けている人の心は傷付いていくのです。

いじめはなくすことができないのでしょうか。わたしはそうは思いません。いじめをなくす第一歩は人と人との心の関係を築いていくことだと考えます。例えば、毎日笑顔であいさつをすること。相手を思いやる優しい言葉をかけること。相手の嫌がることをしないこと。こういった心がけ一つで簡単にできることはたくさんあるのです。また、いじめを受けて辛い思いをしている友達の話聞き、共に悩みを受け止めてあげることも大切なことだと思います。私は家族とけんかすることがあります。しかし、私が悩んだときには寄りそって話を聞いてくれます。辛いことや悲しいことを自分一人ですべて抱え込むのではなく、誰か一人でも聞いてくれる人がいると心が安定します。私は自分が家族や友達にしてもらっているように、元気がない友達や悩んでいる友達には寄りそって話を聞き、悩みを受け止めてあげたいと思います。私ができることはちょっとしたことだけど、続けていくことが大切だと思います。その思いが周りの人につながりいじめはなくなると信じています。

みんなが安心してくらする街にするために、私たち一人ひとりができることを積み重ねていくことが大切です。小さな行動が大きな変化につながり、明るい社会を実現する力になると信じています。

3月の主な行事予定

【生活のめあて】お世話になった人や物に感謝しよう

- 1日(土) **土曜開校(3時間授業)**
・ **6年生を送る会①②** ・ 通常授業③
※送る会后 6年生保護者懇談会
- 5日(水) 地区児童会(昼)
- 6日(木) フッ化物洗口
- 7日(金) 読み語り(今年度最終)
- 10日(月) 委員会活動(4・5年生)
- 12日(水) 6年生ありがとう会～縦割り活動～(昼)
- 17日(月) 6年生修了式②、大掃除④
1～3年生、6年生 13:20 下校
4・5年生卒業式準備⑤⑥
- 18日(火) 第78回卒業証書授与式(全学年参加)
- 19日(水) 地区別下校
- 21日(金) 給食最終日 **全校4時間授業 13:15 下校**
1～5年生学級懇談会 14:00～
- 24日(月) 修了式、辞任式 給食なし全校 11:30 下校

校長のひとりごと



今年は、よく雪が降りました。2月22日からの連休中も、神埼の地でも雪がちらついたりすることがあります。

暖かくなってほしいという気持ちと、もう少しこのままでいてほしいという複雑な気持ちが入り交差しています。

今週は「6年生を送る会」もあります。毎年、この時期はうれしくもあり、さみしくもあり、なんともいえない気持ちになります。

“卒業”

6年生に限らず

今年も様々な卒業(別れ)があるのでしょね。

